

教師が使う I C T 研修 1 （2 部）

授業における I C T 活用

やまぐち総合教育支援センター

教師が使う I C T

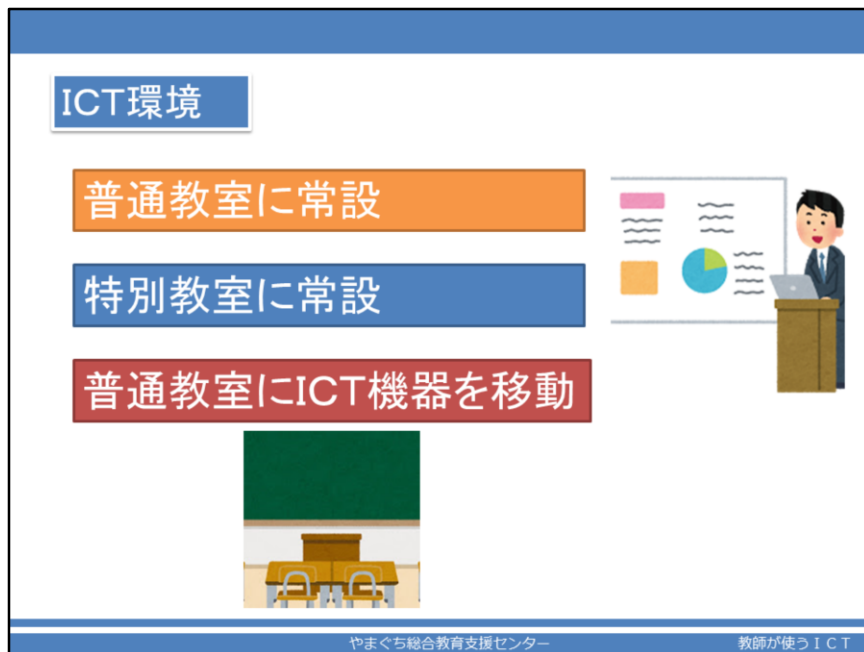
教師が使うICT研修1では、「授業におけるICT活用」というテーマで、ICTを活用するための環境づくりについて考えます。

（★）

研修のゴール

**日常的に I C T を活用するために
設置や準備について考える。**

研修のゴールは「日常的にICTを活用するために設置や準備について考える。」です。
(★)



日常的にICTを活用するには、三つの方法が考えられます。

(★)ICT機器が教室に常設されていることが一番です。しかし、なかなか、その環境は難しいです。

そのため、次に考えられるのは、

(★)特別教室に常設し、児童生徒がその教室に移動して活用する方法です。設置や準備の手間は省けますが、教室移動という手間は発生します。

もう一つは、

(★)普通教室にICT機器を移動させて利用する方法です。

今日は、三つ目の普通教室にICT機器を移動して活用する場合について考えてみましょう。

(★)

A先生は、2時間目の社会科で教科書のグラフを実物投影機とプロジェクタを利用して拡大提示したいと考えました。そこで、1時間目が終わって準備に取りかかりました……



やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

それでは、スライドに示したような場面について、A先生の動きをイメージしてみてください。

A先生は、2時間目の社会科で教科書のグラフを実物投影機とプロジェクタを利用して拡大提示したいと考えました。そこで、1時間目が終わって準備に取りかかりました。

(★)

①職員室に行き、視聴覚室のカギを持ち出し、
②視聴覚室を開け、ロッカーから実物投影機とプロジェクタを持ち出し、
③職員室に戻り、視聴覚室のカギを返却し、
④教室に帰り、プロジェクタを箱から取り出し、電源ケーブルを挿し、
⑤スクリーンを下げ、プロジェクタをちょうどよい大きさになるよう位置合わせをして
⑥実物投影機とケーブルで接続しようとしたが、ケーブルがないことに気づき、職員室に返却したカギを持って視聴覚室に取りに行き、
⑦準備が終わったときには、授業が始まって10分経ち、その間、子どもたちは大騒ぎだった…。

やまぐち総合教育支援センター 教師が使うICT

まず

- (★)①職員室に行き、視聴覚室のカギを持ち出し、
- (★)②視聴覚室を開け、ロッカーから実物投影機とプロジェクタを持ち出し、
- (★)③職員室に戻り、視聴覚室のカギを返却し
- (★)④教室に帰り、プロジェクタを箱から取り出し、電源ケーブルを挿し、
- (★)⑤スクリーンを下げ、プロジェクタをちょうどよい大きさになるよう位置合わせをして
- (★)⑥実物投影機とケーブルで接続しようとしたが、ケーブルがないことに気づき、職員室に返却したカギを持って視聴覚室に取りに行き、
- (★)⑦準備が終わったときには、授業が始まって10分経ち、その間、子どもたちは大騒ぎだった…。
- (★)

ICT環境について考えましょう。

A先生は、2時間目の社会科で教科書のグラフを実物投影機とプロジェクタを利用して拡大提示したいと考えました。そこで、1時間目が終わって準備に取りかかりました・・・

現 状	改 善 点
①職員室に行き、視聴覚室のカギを持ち出し、	○○○○○○
②視聴覚室を開け、ロッカーから実物投影機とプロジェクタを持ち出し、	
③職員室に戻り、視聴覚室のカギを返却し	
④教室に戻り、プロジェクタを箱から取り出し、電源ケーブルを挿し、	
⑤スクリーンを下げ、プロジェクタをちょうどよい大きさになるよう位置合わせをして	
⑥実物投影機とケーブルで接続しようとしたが、ケーブルがないことに気付く、職員室に返却したカギを持って視聴覚室に取りに行き、	
⑦準備が終わったときには、授業が始まって10分経ち、その間、子どもたちは大騒ぎだった・・・	

ICT環境で大切なこと

○○○○○○

やまぐち総合教育支援センター 教師が使うICT

いくらICT活用による効果があるといっても、これでは十分にその効果を発揮できません。

この学校のICT環境をもっと効率的になるように考えてみましょう。

ワークシートに改善点を記入してみてください。

(★)このように矢印を引っ張って「この点をこのように改善する」でもいいですし、全体的に改善策を書いてもかまいません。

(★)最後に、ICT環境で大切なことについて、ワークシートに記入してみてください。時間は5分です。のちに、改善案を発表してもらいます。

(5分後、改善案を時間に応じて発表してもらう)

(★)

日常的にICTを活用するための環境づくり



例えば

接続した状態でワゴン等移動できるものに乗せておく

教室の床にプロジェクタの設置場所を印しておく

等々

5分、10分の休憩時間で準備・設置ができる工夫をしましょう。

やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

短い休憩時間で設置し、準備できなければ、活用が進みません。

例えば、コンピュータと実物投影機とプロジェクタを接続した状態でワゴンのような移動できるものに乗せておく、プロジェクタの位置合わせを簡単に済ませるよう、床にテープ等で目印を付けておくなどが考えられます。

日常的にICT活用ができるよう工夫をしましょう。

(★)